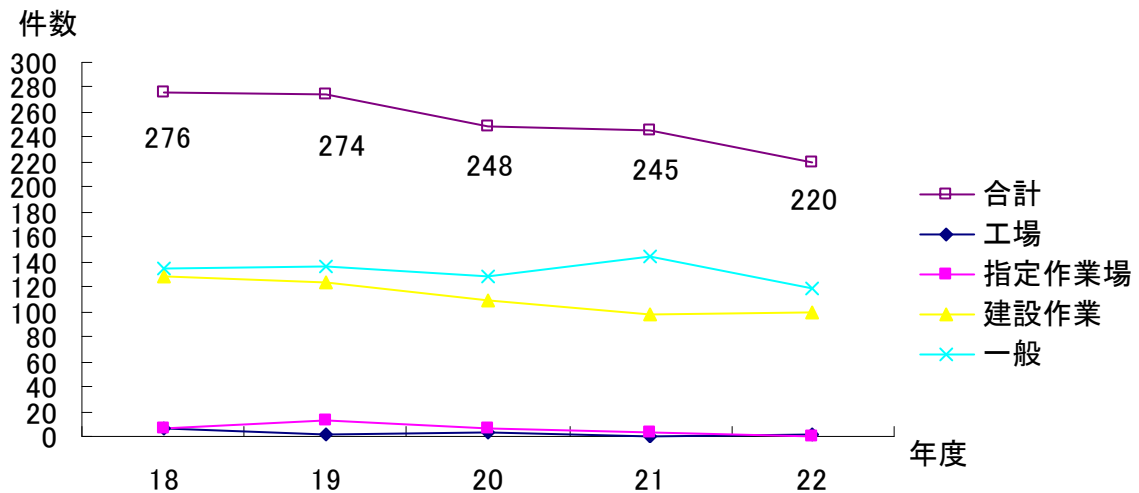
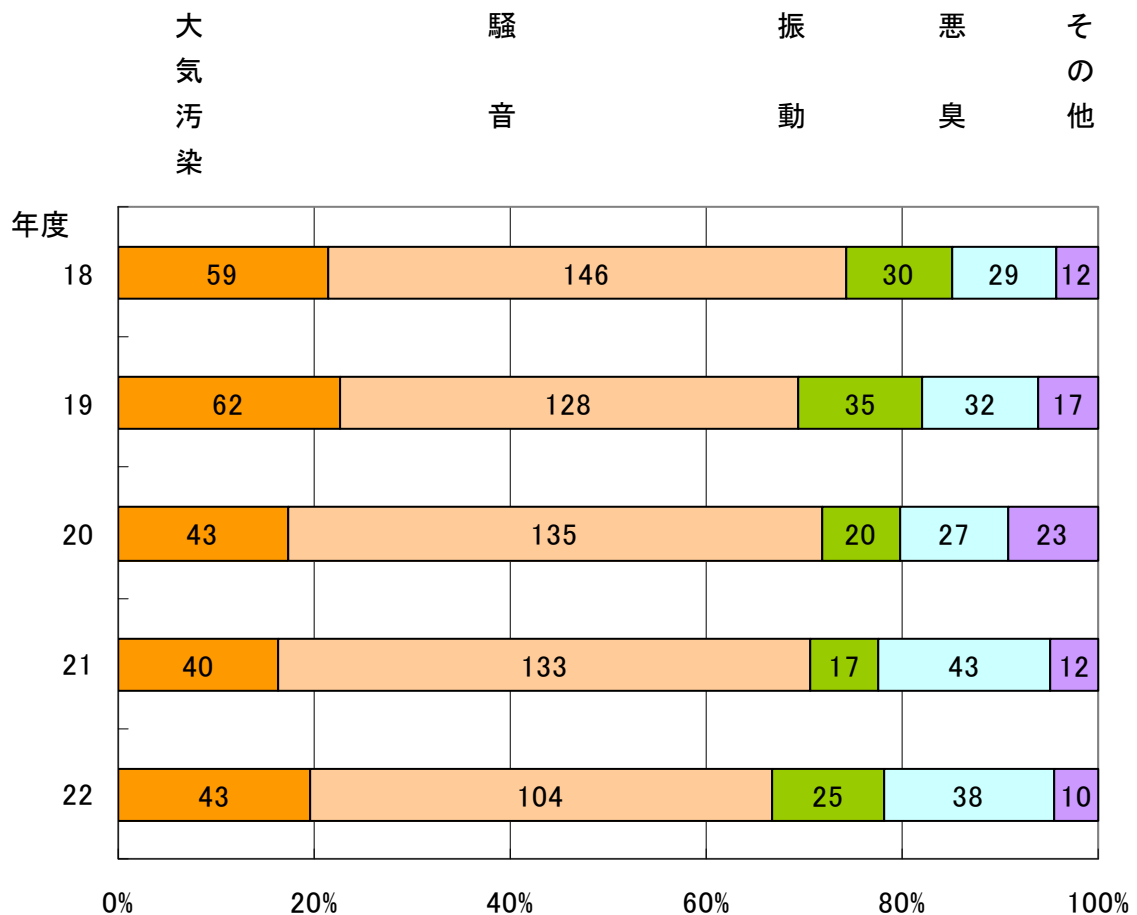


(5) 公害の苦情

<第3-5-1図> 発生源別苦情受付件数の年度別推移



<第3-5-2図> 現象別苦情件数割合の年度別推移

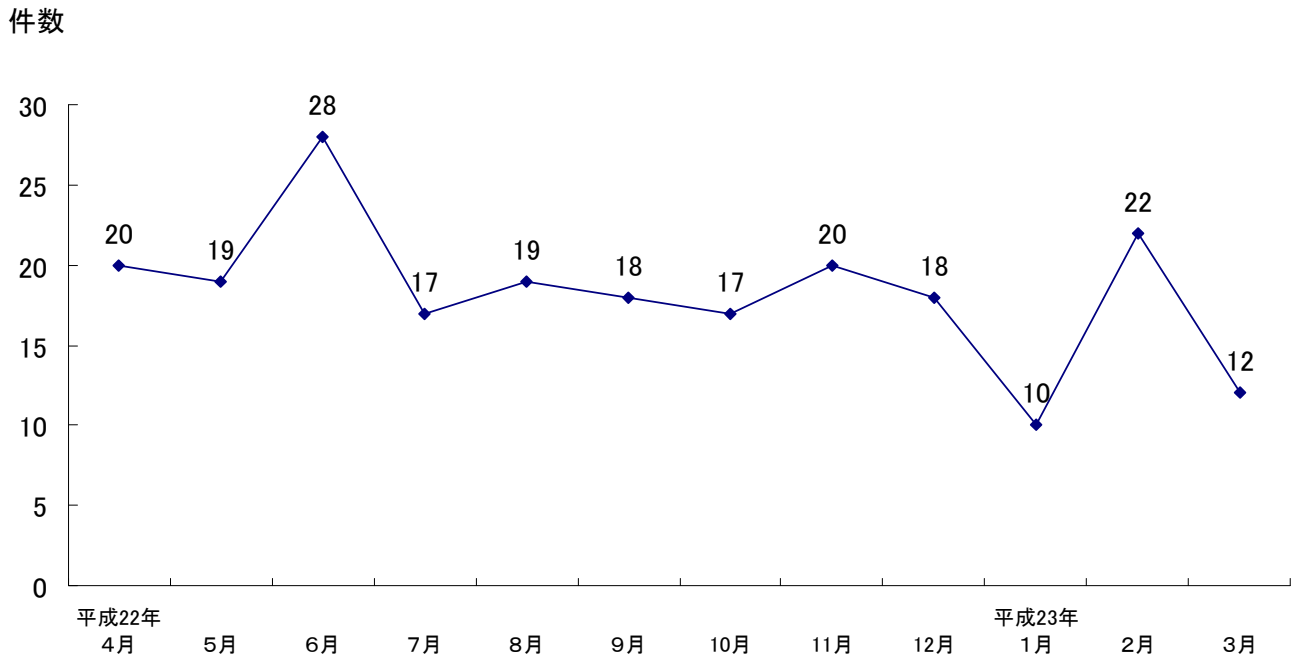


<第3-5-1表> 苦情の年度別・発生源別・受付・処理数

発生源 年度		工場		指定作業場		建設作業		一般		計	
		受付	処理	受付	処理	受付	処理	受付	処理	受付	処理
18	件数	6	3	6	9	129	121	135	126	276	259
	%	2.2%	1.2%	2.2%	3.5%	46.7%	46.7%	48.9%	48.6%	100.0%	100.0%
19	件数	2	6	13	7	123	95	136	125	274	233
	%	0.7%	2.6%	4.7%	3.0%	44.9%	40.8%	49.6%	53.6%	100.0%	100.0%
20	件数	4	7	7	14	109	148	128	162	248	331
	%	1.6%	2.8%	2.9%	5.6%	44.5%	58.7%	52.2%	64.3%	101.2%	131.3%
21	件数	0	2	3	2	98	99	144	149	245	252
	%	0.0%	0.8%	1.4%	0.8%	44.5%	39.4%	65.5%	59.4%	111.4%	100.4%
22	件数	2	2	0	4	99	97	119	148	220	251
	%	0.9%	0.8%	0.0%	1.6%	45.0%	38.6%	54.1%	59.0%	100.0%	100.0%

<第3-5-3図> 苦情の月別受付件数

月別苦情受付件数(合計220件)



(6) ダイオキシン類対策

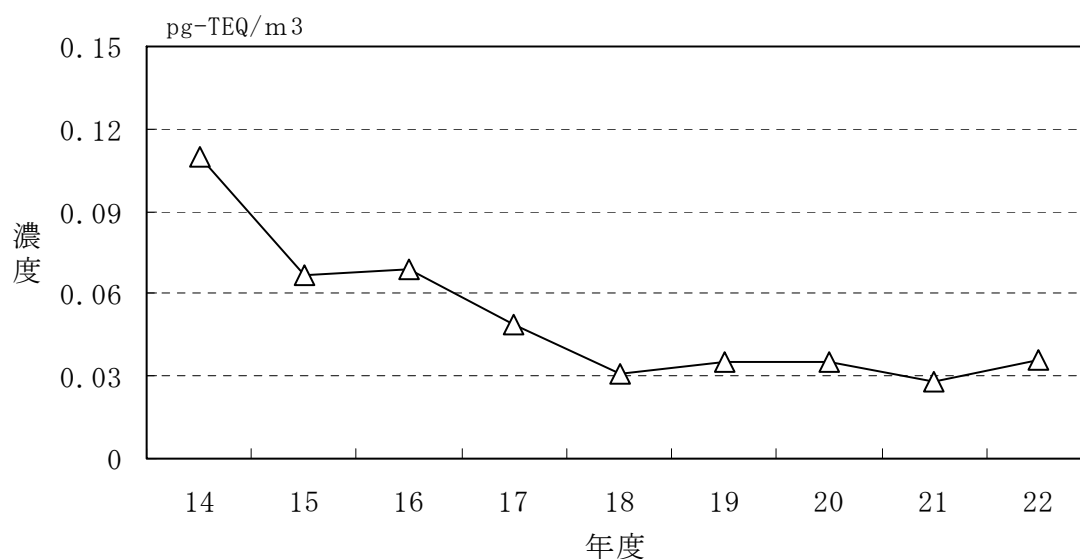
<第3-6-1表> 大気ダイオキシン類調査結果(7日間連続採取)

(単位: pg-TEQ/m³)

調査日	平成22年 5月19日 ~26日	8月18日 ~25日	11月17日 ~24日	平成23年 2月2日 ~9日	年平均値
調査地点					
井草森公園	0.020	0.015	0.051	0.057	0.036
南荻窪図書館	0.021	0.017	0.048	0.063	0.037
郷土博物館	0.025	0.016	0.047	0.050	0.035

環境基準: 年平均値が0.6pg-TEQ/m³以下

<第3-6-1図> 大気中のダイオキシン類濃度経年変化



注) 平成19年度以前のデータは旧毒性等価係数を用いて算出された値

<第3-6-2表> 河川ダイオキシン類調査結果(水質)

(単位: pg-TEQ/l)

調査日	平成22年 8月20日	平成23年 1月20日	年平均値
調査地点			
宮下橋(神田川)	0.15	0.058	0.10
佃橋(神田川、玉川上水放流口)	0.45	0.074	0.26
尾崎橋(善福寺川)	0.061	0.050	0.056
和田見橋(神田川)	0.20	0.28	0.24

環境基準: 年平均値が1pg-TEQ/l以下

注)

1. ダイオキシン類とは、ポリ塩化ジベンゾフラン、ポリ塩化ジベンゾパラジオキシンおよびコプラナーPCBを含めたものをいう。
2. TEQ: 毒性等量といい、ダイオキシンの種類ごとに毒性の強さが異なるため、最も毒性の強いダイオキシンの量に換算したものの。
3. 1pg: 1兆分の1グラム。